

生産性向上 人材育成 支援センター のご案内

福島職業能力開発促進センター

**福島職業能力開発促進センター
いわき訓練センター**

**福島職業能力開発促進センター
会津訓練センター**

可能性がひろがる職場へ

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、企業の皆様が事業展開を図っていくためには、従業員を育成することにより、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

生産性向上人材育成支援センターは、従業員に対する多様な職業訓練の実施などを通じて、企業の皆様の生産性向上を支援しています。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

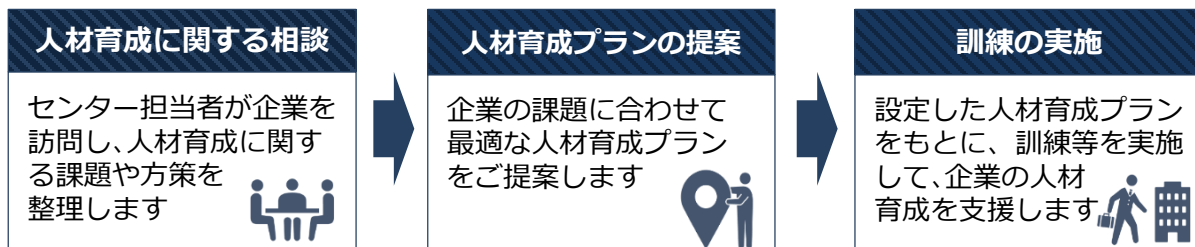


(生産性センター紹介ページへ)

生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおりて社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。



在職者訓練（能力開発セミナー）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など「ものづくり分野」における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。

地域のニーズを踏まえて訓練コースを設定して実施するほか、個別企業等のオーダーに応じて訓練を実施します。

(1) 訓練実施場所

全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジの実習場 など

(2) 訓練時間数

12時間～30時間

(3) 受講料(1人あたり平均)

7,000円から30,000円程度

※平均13,000円程度、訓練内容や使用機材等により変動

(4) 主な訓練分野

【機械系】

・機械設計 ・機械加工 ・溶接加工 など

【電気・電子系】

・電気設備保全 ・通信設備工事 ・電子回路設計 など

【居住系】

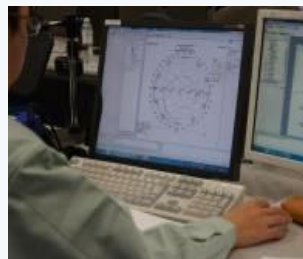
・建築設計・製図 ・建築施工 ・建築設備工事 など



▲ 金型設計において考慮すべきトラブル対策実習



▲ TIG溶接実習



▲ シミュレーションによる高周波回路設計実習



▲ 木造軸組加工法による建物組立の実習

「ハロートレーニング-急がば学べ-」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。



「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。

information

指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行っています。



人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練に従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは生産性センターにお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。



(厚生労働省HPへ)

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用などあらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、企業が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得する職業訓練です。個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

- (1) 訓練実施場所
企業の自社会議室 など
- (2) 訓練時間数
6時間～30時間
(IT業務改善は、4時間～30時間)
- (3) 受講料 (1人あたり・税込)
3,300円～6,600円
(IT業務改善は、2,200円～4,400円)
- (4) 主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入し業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・個人のノウハウを社内で見える化したい。

- ・役割の変化への対応を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員に指導の手法を学ばせたい。
- ・ベテラン従業員のOJTスキルを向上させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい
- ・集客につながるHPを作成したい

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決 ・実践RPA活用
- ・テレワークを活用した業務効率化 など

【組織マネジメント】

- ・組織力強化のための管理
- ・業務効率向上のための時間管理 など

【生涯キャリア形成】

- ・後輩指導力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業手法/実践 など

【IT業務改善】 **NEW!**

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につなげるホームページ作成 など

「まずは試しに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…

広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

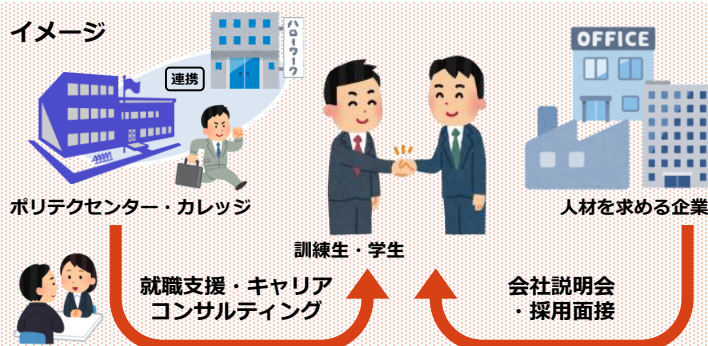
人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。

また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技能者の養成を行っています。



イメージ



在職者 訓練

顧客満足度 99.9%（受講者）、98.3%（事業主）

（福島県3センター令和元年度調査から）



在職技術・技能者のスキル向上を目的とした在職者訓練（能力開発セミナー）をご利用いただいた受講者と事業主にお聞きした役立ち度を示しております。訓練カリキュラムは学科と実習をセットにし、仕事に役立つ！ことを目的としています。利用者からのご意見の一部です。

- * 今後も技術・知識力アップのツールとして、能力開発セミナーを活用して行きたいと考えています。
- * 実習設備も整っており、講師の方もペース配分を考えてくれました。セミナーで習得した技術は、現在の仕事に応用し、役立っています。

生産性 訓練

顧客満足度 97.2%（受講者） 88.2%（事業主）

（福島県3センター令和元年度調査から）



株式会社山川印刷所様

全体効率化の意識づけに！

■「成果を上げる業務改善」コースを受講

今回の訓練には、営業、企画制作、印刷・製本・物流、総務の各部署の社員を参加させました。各部署の社員がともに課題に取り組むことにより、コミュニケーションが図れ、他部署との風通しが良くなったり、会社全体の流れの中で自部署が果たすべき役割を意識するようになりました。

現在、作業の更なる効率化と生産性の向上を目指し、受講したメンバーを中心に、各工程ルールの整備を進める検討チームを立ち上げました。今後、全社員にこの取り組みを広げていこうと考えています。全社員が全体効率化を意識していけるよう、継続的に人材育成のための取り組みは行っていきたいと考えています。



三光化成株式会社様

Excelの関数を使ってデータ活用を！

■「効率よく分析するためのデータ集計」コースを受講

弊社の事務処理のベースは社内システムではあるものの、顧客や集荷等のデータをExcelで加工し、活用することもあります。しかし、昨今のモバイル普及の影響か、Excelのデータ入力は出来ても、関数等を使ってデータを活用できる社員は少なく、特に若手社員にデータ活用を学んでもらいたく受講を決めました。

訓練後は現場での管理帳票等の活用が見受けられ、受講生たちは学んだことを如何にして仕事に結び付けられるか、模索しています。今後は、IoT化やAIの活用など様々な変革が求められている中で、さらにそれらの知識の向上が課題であると感じています。



access

福島職業能力開発促進センター（愛称：ポリテクセンター福島）

生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）

〒960-8054 福島市三河北町7-14

TEL 024-534-3661 FAX 024-533-6610

福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター（愛称：ポリテクセンターいわき）

生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）

〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1

TEL 0246-26-1231 FAX 0246-26-1237

福島職業能力開発促進センター会津訓練センター（愛称：ポリテクセンター会津）

生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）

〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292

TEL 0242-26-0520 FAX 0242-26-1585

